



# 謹賀新年



刈谷市議会議長  
**中嶋 祥元**

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。

旧年中は、市議会に対する温かいご支援、ご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

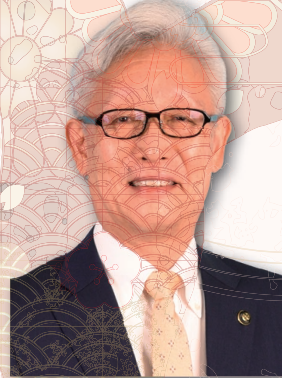
昨年新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年でしたが、コロナ禍で中止や延期となっていたイベントが少しずつ再開されるなど、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新しい生活様式が、徐々に浸透してきていると感じております。しかし、コロナの終息は未だ見通すこ

とができない状況です。市民の皆さまにおかれましては、引き続き感染症対策の徹底やワクチン接種へのご協力をお願いいたします。市議会におきましても、市民の皆さまの命と暮らしを守るため、議員一丸となって有効な施策の実現に向けて努めてまいります。

市議会では、昨年6月にタブレット端末を導入いたしました。議会のデジタル化を進めるとともに、ペーパーレス化の推進や情報の効率的な収集・共有を図るなど、議会機能の充実や強化に取り組んでまいります。

また、スマートシティ実現に向けた実証実験が始まるなど、刈谷市のまちづくりは新しい局面を迎えています。最先端のICT技術の活用などにより、市民の皆さまの生活が快適で便利なものとなるよう、市長とともに施策を推進したいと考えております。

結びに、市民の皆さまのご健康、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



刈谷市長  
**稲垣 武**

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、資源、原材料の価格高騰、急激な円安の進行などの影響により、大変厳しい経済情勢でありました。そうした中でも、万燈祭やわんさか祭りなどが開催され、たくさんの方の「元気」と「笑顔」を拝見し、日常が少しずつ戻ってきたことを実感しました。

また、刈谷スマートICの開通、刈谷駅北口の再開発などの大規模な事業についても着実に進めることができました。スマートシティやカーボンニュートラルに向けては、刈谷市スマートシティ推進協議会や刈谷知立みらい電力株式会社の設立など、その取り組みが本格化してまいりました。

本年は最上位計画となる「第8次刈谷市総合計画」を策定します。先人たちの意思を受け継ぎ、未来を切り拓く計画とし、本市の進むべき道をしっかりと示し、市民の皆さまと一緒に、引き続き持続可能な街づくりに取り組んでまいります。

今後も、ウィズコロナ・アフターコロナの社会を見据え、市議会や関係機関の皆さまと連携を図りながら、市民の皆さまが安心して暮らしていただけますよう、決意を新たに強い責任感を持ち、必要な施策を講じてまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、市民の皆さまにとりまして幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



ミササガ市長  
**ボニー・クロンビー**

メッセージの原文はこちらへ

**1009656**

ミササガ市とミササガ市議会を代表して、新年のごあいさつを申し上げます。本市と刈谷市は、40年以上の長きにわたり、共に活動し、考えや文化を共有しながら充実した姉妹都市関係を築いてまいりました。

私も、市長就任以来、両市の関係を更に強くすることを最優先としてまいりました。

2022年には、新型コロナウイルスの感染拡大で遅れていた姉妹都市提携40周年カリヤパーク植樹祭を在トロント日本国総領事館の総領事や(株)デンソーの代表者とともに、遅ればせながら開催することができました。また、寄贈していただいた6本の桜の木は、刈谷市の文化と遺産があるカリヤパークに植えました。

私も再び刈谷市を訪れ、稲垣市長とお会いして、私たちの友好、そして文化的、経済的なつながりをどのように更に強くできるかお話できることを楽しみにしています。

両市は、互いに惹かれあい、40年の姉妹都市提携を通して、互いにすばらしい発展を遂げ、更なる成長を続ける固い絆を創り上げてきました。

刈谷市の皆さまが、喜びと繁栄、そして健康に満ちた、幸せで実り多き新年を迎えられることを願っています。